　中学２年生　おかやまキャリア・パスポート

１年間の自分の成長を見つめ、来年度への自己成長や学習・生活意欲につなげる大切な機会としましょう。

各学校の生徒の実態に合わせ、設問を検討します。補足説明の必要がある場合は、丁寧に行いましょう。

|  |
| --- |
|  |

記入日　　　　年　　月　　日

〇この１年間を振り返って

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 自分の気持ちや行動に一番近いところに○をつけよう | いつも  している | 時々  している | あまり  していない | ほとんど  していない |
| 1. 友達や家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしましたか。 | 記入の際には、１年間の主な学習や生活の経験、地域関連のできごとを提示するなど、生徒自身が振り返る際の支援となるような工夫があると良いでしょう。 |  |  |  |
| 1. 相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしましたか。 |  |  |  |  |
| 1. 自分から役割や仕事を見つけ、分担するなど、周りの人と力を合わせて行動しようとしましたか。 |  |  |  |  |
| 1. 自分の興味や関心、長所や短所などについて、把握しようとしましたか。 |  |  |  |  |
| 1. あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしましたか。 | ・身につけようと思ったことが身についたかどうかを振り返り、自己評価させます。  ・結果を数値化することで、学校におけるキャリア教育の指導改善にも役立てることができます。  ・１年生の時の様子と比較することで、成長をより実感することができます。 |  |  |  |
| 1. 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしましたか。 |  |  |  |  |
| 1. 分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集しましたか。 |  |  |  |  |
| 1. 何かをする時、見通しをもって計画的に進めることができましたか。 |  |  |  |  |
| 1. 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何を改善すればよいか考えましたか。 |  |  |  |  |
| 1. 今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えるなど、学ぶことや働くことの意義について考えましたか。 |  |  |  |  |
| 1. 自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えましたか。   ・記入の際には、義務教育最後の１年を迎えようとしていることを、生徒と共有しましょう。  ・生徒自身が２年生での具体的な場面を思い起こしながら、自分の成長を実感することができるようにします。  ・自分の成長を見取り、その理由を考えることで自分自身を深く振り返り、次年度の成長や意欲につなげることができるように、じっくり考えさせることが大切です。  ・記入できない生徒への支援を行うことが必要です。  （工夫例）教師や友達からの他者評価を参考にさせる  　　　　　教師が見取った成長やその理由について、言葉かけを行いながら、生徒自身が自分の成長に気づくことができるようにする。  ・無理にすべて埋めさせるなどの指導が行われないよう配慮が必要です。  ・頑張れなかったことがあれば、その理由についても整理することができるよう支援します。  ・３年生でなりたい自分や30歳の自分に生かせるように促します。 |  |  |  |  |
| 1. 自分の将来の目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫するなど、努力しましたか。 |  |  |  |  |

○この１年間を振り返って、頑張ったこと（成長できたと思うこと）とその理由

|  |  |
| --- | --- |
| 学習面で | なぜ |
| 生活面で | なぜ |
| 家庭や地域で | なぜ |
| その他（習い事・資格取得）などで | なぜ |

○なりたい自分になるために身についたと思う力と、その理由

|  |  |
| --- | --- |
| 身についたと思う力  ・具体的な場面を思い起こしながら、客観的に振り返ることができるようにします。  ・自分の進路を考え、今何をすべきなのか、大切にしたいことや努力したいことを記入することができるよう促します。  ・よりよい３年生としての、なりたい自分をイメージさせて、前向きな思いを記入できるようにします。 | 理由 |

〇３年生になる自分への応援メッセージ

・30歳の将来の自分をイメージして、自分の良さで伸ばしたいことや克服したいことを考えさせます。

（工夫例）　・生徒にとって「30歳」がイメージしにくい可能性もあるので、何人かの「30歳」を紹介する

・30歳の先輩のお話を聞く活動　など

・例示する際には、イメージが固定化したり、一つの生き方を評価したりするものとならないよう、配慮が必要です。性別や職業、生き方など生徒の視野を広げることができるようにします。

〇将来の自分（30歳の私）を想像しよう

|  |
| --- |
| 30歳のとき、どんな自分になっていたいか |
| そんな30歳のあなたがしていること（仕事の内容など）  ・進路・将来の夢・職業・大切にしたいこと・挑戦したいことなど、さまざまな角度からの記入を認めましょう。 |
| そう思った理由やきっかけ |
| そのために、どんなことをしたらよいか |

|  |  |
| --- | --- |
| 先生からのメッセージ | 保護者などからのメッセージ |
| メッセージを読んで気付いたこと、考えたこと  ・１年間、生徒の成長を身近で見取ってきた大人の一人として、次年度に向け、更なる成長を心から期待して記入します。生徒の考えを日頃の行動をつなげて、肯定的な言葉で伝えましょう。短いメッセージでもかまいません。 | |